



2009-2010年度RIテーマ

国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立	1964年3月2日	例会日	毎金曜日12時30分	例会場	オークラ千葉ホテル
会長	寺澤 一良	幹事	五十嵐 博章	雑誌会報委員長	佐久間 信一
事務局	〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1トーシン千葉ビル7階			TEL 043-245-3204	

2010年1月第2週号

第2251回



平成22年1月15日(金) 点鐘12:30(晴れ)

*ロータリーソング 『我等の生業』

* 四つのテスト ~言行はこれに照らしてから~

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

*お客様紹介

本日のゲストスピーカー

話し方教室 主任講師 安田 英夫様

《会長挨拶及び報告》 寺澤 一良会長

今年に入ってから晴天ですが、寒い日が続いております。雪国生まれの私も、単純に寒いから雪が多いと思っていたのですが、温暖化によって気温の上昇が多い年に、水蒸気の蒸発が多ので、降雪量が多いということを知りました。75年も経ってです。

世の中には常識では分からない事が多いということでしょうか。そういうことは常識だと言われそうですが、お恥ずかしい話しですが、雪国の私の地方もご多分に漏れず近年にない大雪だと聞いて、今年は寒いんだなあと思っていたようなわけです。

先週1月8日の当クラブの理事・役員会及びクラブ協議会でも議題になっていましたが、会員増強を推奨する地区からの要請が来ております。これには会員増強にご協力頂いた会員には、地区からスポンサーピンの贈呈の用意がしてあると言う案内です。

当クラブとしても太田会員増強・退会防止委員長主導でプロジェクトを創り、1人1人が新会員を紹介するキャンペーンを展開する用意をして頂いております。これに付いては太田委員長から委員会報告がございます。

クラブフォーラムで、小野社会奉仕委員長から説明がございました、「第33回R.Y.L.Aセミナー」が港区芝公園にある「増上寺」で開催されるのですが、参加者が少なくて困っております。

地区から再度の参加要請が来ております。

次に、先週の理事・役員会及びクラブ協議会で時間切れになりましたが、お渡ししたリーフレットの中に入っていたご案内で、国際ソロブチミスト千葉が開催する「第34回チャリティディナーショー」にぜひ参加して下さい。ショーはデキシーランドジャズの大御所、菌田憲一とデキシーキングスです。収益金は千葉県地域ぐるみ福祉振興基金、千葉市社会福祉基金等に寄付されます。申込締切は、2月10日ですから、生のジャズ音楽を聞きたい人は事務局まで申し込んで下さい。

最後に、これも理事・役員会に提起されている議題ですが、「ゆめ半島千葉国体への協力の件」です。

10月25日に千葉リバーレーンで障害者スポーツ大会が行なわれます。ここにボランティアとして協力する事も考えられますので、2月の理事会でご検討頂きたいと思っております。

以上をご案内して今週の会長挨拶を終わります。有難うございました。

《委員会報告》

会員増強委員会より (太田 和夫委員長)

会長のお話の中にもありましたように、会員増強について「会員増強・退会防止」特別プロジェクトを作り、どのようにして会員増強を図るか検討してほしいとのことでもございました。早速、メンバーが決まりましたので、発表させていただきます。

植松会員・北原会員・塩谷会員・出井会員・寺澤会長・五十嵐幹事・水野会員・太田の8名です。

これから検討してまいりたいと思っておりますが、いずれにしても全会員さんのご支持がなければ出来ません。伝統ある当クラブは、間もなく創立50周年を迎えます。それまでには何とか50名にしたいという希望もございませう。今、どこの地域でも会員の増強については、大変難しい問題を抱えているわけですが、ぜひとも皆様のご協力を宜しくお願い致します。

《ニコニコボックス報告》

☆寺澤 一良会員・五十嵐 博章会員

安田英夫様、ようこそいらっしやいました。卓話を楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

本日のニコニコボックス	2,000 円	累計	428,314 円
金の箱	1,740 円	累計	19,620 円

《出席報告（会員数43名）》

今関		川口		塩谷		花澤	
五十嵐		北原		末吉	欠	橋口	
伊藤		国友		鈴木・美		畠山	欠
植松	欠	小塚	欠	瀬谷		原田	
太田		小林		竹尾	欠	本田	欠
大野		向後	欠	高橋		松尾	欠
小野		澤本		土屋		丸島	
川合		榊原		寺澤		水野	
金親		斎藤・昌	欠	出井		野城	
金田		佐久間	欠	中沢		吉田裕	
栢木		鮫島		野本			
出席 33名 欠席 10名 ビジター 1名 修正出席率 次回にて							

千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい](#)

千葉RC	月	2/15	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	1/26・2/16	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	1/26・2/16	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	2/17	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	1/27	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	1/28・2/18	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	1/28・2/4	京成ホテルミラマーレ

本日の卓話

演 題…『褒め方と叱り方』

卓話者…話し方教室 主任講師 安田 英夫様



ロータリークラブは私達から見ますと、偉い方の集まりという印象があります。偉い人が非常に多いということは、人との付き合いが多いと思いますし、多くの方がご自分の後輩、部下をお持ちです。後輩、部下に対して、皆様がどのような対応を行っているかということがひとつの基本にあります。

話し方は、ご承知のとおり自分一人で喋っては何の魅力もありません。普通の方は話をする場合、必ず相手があります。相手がどう聞いているかということで、私が長年行なっている話し方学校でも、一番初めに学ぶことは挨拶のやり方です。人間として挨拶は基本であり、人の付き合いの第一歩ということで行います。

その次に何を勉強するかといいますと、聞き手を考えます。話し方というのは、挨拶が上手く出来ればその後は、聞き手を考えて話します。

ロータリークラブさんの場合は、食事の後ですからお腹が一杯だと必ず眠くなる。眠くなる人を眠らせずに、30分間で何かためになる話をしろというのですから、欲望

がすごいです。

今日、私が非常に感心したのは、「四つのテスト」を皆さんが復唱されていましたが、4番目に「人のために」という言葉ができました。これは、非常に素晴らしいことであり、ロータリークラブはそういうような立場でお集まりになっていると思いました。話し方というのは、100%が人ための行っているのです。自分がどう上手く話すかというのは、二の次で、私の話を一体どう聞いてくれるかということにポイントがあるわけです。

私は、数年前に九州看護婦会の総会が小倉であり、講師と呼ばれて伺いました。実に3,000人の看護婦の方が参加されており、講話をしてきましたが、会場を真っ暗にし、講師の席だけ照明を付けてありました。その会場では、看護婦さんの席は真っ暗で自分がいる舞台だけ光っていて、その時の話すことの非常に難しいこと。つまり、聞き手の顔が見えないで話す程、頼りない話はないのです。

今日もお集まりの方々の顔をみながら、どういう顔でお聞きになっているか、だいたい人の話を聞いている顔は真剣な顔をされているのが普通です。真剣な顔はどのような顔なのかというと、やや頬が突っ張っているということをいいますが、やはりお顔を拝見していますと、お聞きになって頂いているな、あるいは聞いてないなということが分ります。聞いているふりをするのは非常に簡単に出来ます。顔だけこっちに向けていても、心の中は、今日の晩飯は何を食べようかなと考えている方もいるかも知れません。そういう方は、お顔だけ向けていても心の中は逃げています。そういう方がいるのではないかと思ひながら、話をする必要があります。

叱るというのは、人を叱りながら、自分自身も叱っているとお考えになった方が良くと思います。叱っている時のご自分自身の心の中を考えますと、叱っている本人は、心の中で泣いているかも知れない。そんな気持ちで叱るというのは、実をいうと衛生上あまりよくありません。人を叱れば、叱られた方も嬉しくない。叱っている方も喜んで叱っているわけではありません。是非、褒め方に光を当ててほしいと思うのです。人を褒めることの方がどんなにプラスになるか・・・。

基本的には、褒めることの効用は、人を育てます。人を育てるのは、なんといっても褒めて育てるという考え方。これを基本にお考えになると良いですね。

一に褒め、二に叱ってという言葉がありますが、叱らないと育てられないじゃないかと思うことは、思うだけでも私はあまり芳しくないと思います。褒めて育てよう、どうやって褒めようか、というようにお考えになるほうがよろしいのではないかと思います。ですから、褒めることの効用の一つは、人を育てる。二つ目は、自信を持たせる。人間は褒められると自信を持つんですね。今まで気が付かなかったけれど、たまに褒められると、アッそうか、私にもあんな良いところがあったんだと、今更ながら自分自身を振り返ることもありますので、褒めることの二つ目の効用は、自信を持たせることです。三つ目は、やる気を起こさせる。四つ目は、まわりを明るくする。一人を褒めると、まわりで聞いている人も、ああやると褒められるのかと、目標にな

って、まわりの気持ちが明るくなります。褒めるという効用は、相手、自分ばかりでなく、周りにもプラスがでてくることがあると思います。ご注意頂きたいことは、褒めるということとおだてるということは違うということです。おだてるというのは、なんとなく虚しいものですよ。褒めることによって、自分自身の人生感も変わってきます。

挨拶をすることは、相手も喜ぶことはもちろん、自分自身もその気になります。明るい声で「おはよう！」と言うと言った本人の気持ちも明るくなります。話し方というのは、相手だけではなく自分にもプラスになるということが、褒める場合に大いに影響してきます。褒める言葉は皆さんご承知のとおり、一般的には、「よくやったね。」という言葉をよく使いますね。他には、「いいところに気がついたね。」「よく頑張ったね。」というような言葉があります。「君ならもっとできるはずだ。君ならもっと良くなるはずだ。もっと伸びるよ。」と褒めることによって、将来に希望を持たせるという褒め方もあります。

褒める裏には、やはり、叱ることも必要です。上役のなかには、部下に一言、二言小言をいうのが、務めだと思っている方がいますが、小言と叱るということが混同されやすいのです。叱り方のポイントの一つは、相手がわかるように叱る。話し方の中の一つの基本的な原則にわかるように話せ、叱る時は特に相手がこういうことで叱られているのだと、はっきりわかるように叱れということです。或は、叱っている内容が一つだけならいいのですが、二つ、三つと、すぐ踏み外す人がいます。叱るときには、何か一つに限定して叱るということもお考え頂く方がよいと思います。叱っているときには、あなたのことを高く評価しているから叱っているのだと、いことがわかるようにすることがよろしいでしょう。

参考までに叱らないほうがよい時というのにふれておきますと、一つは、相手が既に反省している気配があれば叱らないほうが良いと思います。反省している人は、取り返そうと思って、次は素晴らしい仕事をするのがわりと多いのです。それから、叱る内容は事実かどうかを確かめること。事実でないことで叱っても仕方がないですから。また、叱る人は自分自身が自信を持って叱ること。重要なことは、叱るほうと叱られるほうの信頼関係が基本にあるかどうかです。信頼関係があれば、叱っても直ぐに気付きます。

叱り言葉は、たくさんありますが、「いつもの君らしくないね。」「あなたらしくないね。」この言葉は大変良いと思います。叱られる方にとっては、同じ失敗を繰り返すと、会社にも大きな損害を与えることになるだろうし、叱る方も同じ失敗を繰り返さないようにということをお考えになって、叱ったほうがよろしいのではないのでしょうか。

ロータリーで話しをすると決まった時にマスコミは叱ることや褒めることをどのように取り上げているのかを調べました。1月4日付読売新聞の朝刊の「幸せのシェア」で、奈良県のピザ宅配店で「褒める会議」を月に1回開いていることが掲載されていました。皆様方が講演をするチャンスやお話になる機会が非常に多いと思いますが、その時に資料をお持ちになり、その資料をみせるんです。あの講師は、いろいろ集めて調べているなどと思われるの

で、何かお話しをされるチャンスがあれば、切り抜きでも雑誌でも資料を提示し、今日の講演のために資料を集めているんだよと、話の一つのきっかけにされることをお勧めします。

その読売新聞には、「褒める会議で働く喜び」ということで、月に1回、10人が働くピザ会社の社員の集まりのときに、「あなたが届けたピザで奥様が非常に喜んでくれて握手をしてくれた。」このような話をすると、一つの話題になります。10人が一人一人発表すると、大変参考になります。ピザを運ぶことでお客様が喜んでくれる。褒める会議を月1回行うことで、いろんな話の材料を仕入れることが出来ます。

新聞を読みながら、ふと思いついたのですが、同志社大学の田田教授の組織論ですが、仕事の達成感、やりがいの裏には、認められたいという気持ちが誰にもある。仕事をやった結果を認めてもらいたい。認めてもらいたいというのは、承認意欲、承認の欲求が誰にもある。しかし、誰か一人が仕事で認められると、そうでない人が、やっかむというか、不満に思うこともある。今、不景気な世の中ですから、給料を増やすとか、褒美をあげるとか、物質的なことよりも、個人が多様な基準で認められる。名誉の分かちあい。名誉の分かち合いは、ひとつのシェアですが、名誉の分かちあいを非常に重要視する。尊んでいる。ということで、働く意欲を高める上で注目してよいのではないかと思います。

人間は不思議なもので、名誉力、小さなことでも褒められると嬉しいということを見ると、人を褒めるということが褒められた方にとっていかにプラスになっているかということをお考えすると、大いに褒めていただきたいと思えます。

東京のあるデパートでは、褒めあいカード(名刺サイズ)を褒められ箱に入れて集めて発表しているところもあるようです。というように、人から褒められた例を集めて、皆でこういうことがあってお客様から褒められたんだよ、という話し合いを月に一回行なうということがどんなに職場にプラスを与えているかが読売新聞に掲載されています。

叱る、褒めるとあっても、叱るより褒めるほうが会社にとって多いにプラスになり、また、褒めたご本人にとっても、大変、心豊かになる。ということで、大いに褒めるということをお勧め申しあげます。

(文責 栢木 伊久二)



第2252回例会

日時⇒ 平成22年1月22日(金) 点鐘 12:30

演題⇒ 『都川の環境』

卓話⇒ NPO法人都川の環境を考える会

会長 武部 功様

第2253回例会

懇親夜例会

日時⇒ 平成22年1月29日(金) 点鐘 18:00

会場⇒ オークラ千葉ホテル

